



梅雨に咲くアジサイ

荻窪公園で6月29日、アジサイまつりが開催されました。会場を訪れると10種1万6,000株の色とりどりのアジサイがお出迎え。だんべえ踊りやスタンプラリー、環境イベントなども行われ、来場者は思い思いのひとときを過ごしました。アジサイの見頃は今月下旬まで。



つながりを求めて熱くPR

6月22日、総合福祉会館で「地域・NPO・企業パートナーシップのチャンス」を開催しました。本市を元気にしたいと考えている30団体がユニークな提案を発表。その後は熱心に意見交換を行い、お互いに連携していける可能性を探っていました。



まちなかに若者が集結

6月21日、中央通り商店街で「第3回MAEBASHI合同学園祭」が開催されました。市内の専門学校・大学の学生がまちなかに集結。ステージイベントや模擬店などの催しが盛りだくさん。参加者も学生も一緒に祭りを楽しみました。



イモラ国際ピアノオーディションで特別優秀賞
福田 優花さん・8歳
荒牧町

ピアノのきれいな音色が好き

数多くのピアニストを輩出しているイタリアの名門音楽院「イモラ国際ピアノアカデミー」。同院が日本で開催したピアノオーディションで、グランプリに次ぐ特別優秀賞に輝いた。オーディションは小学低学年の部から大学・一般の部までの5部。それら全ての約200人の中から選ばれた栄誉だ。小学低学年の部では1位を獲得した。

コンクールなどへの参加は今回が初めて。しかし、普段の練習の成果が出せたという。「ピアノを弾くことだけを考えたので、集中できました。あまり緊張しなかったな」演奏した曲はリゲティ作曲の「ムジカ・リチュエルカータ」。

難しい曲だが、福田さんは見事に弾きこなす。指導者の笠原智廣さんは「一曲のイメージを聞くと、自分なりのストーリーを話してくれます。さらに光るものを持っていますね」と太鼓判を押す。

ピアノを弾き始めたのは4歳のころ。母が弾いているピアノを聴いて、その魅力に引き込まれた。「ピアノの音色がきれいで、大好きなんです」今月にはイタリアで行われるイモラ・サマー・フェスティバルに参加する。そこで、再び腕前を披露することとなる。小さな体の福田さんが、世界という大きな舞台で喝采を浴びる日は近い。

私とアーツ前橋は私の夢舞台

この連載では、市民に寄稿してもらい、さまざまな角度でアーツ前橋を紹介します。第3回はアーツ前橋の監視員・向田美和子さんです。

向田 美和子さん・53歳



昨年夏のプレオープンから、アーツ前橋の監視員として働いています。数年前に前橋市の美術館構想ができた時から、「何らかの形でこの美術館で働きたい



な」と思っていたので、その夢がかなったわけです。若くてきれいなスタッフを期待しているお客様には申し訳ないですが、定年までこの施設で勤務したいと思っています。

アーツ前橋は、スタートを切ったばかりで、正直来館者が多いとは言えません。前橋市民でも、その存在すら知らないという人もいます。アーツ前橋のイメージが、いつか「アーツ前橋のない前橋なんて」と言ってもらえるのが、監視員として、一市民としての私の夢になっています。

アーツ前橋では美術展だけでなく、イベントも行っています。それらに参加してさまざまな観点からアーツ前橋を見て、自分なりの発見をしてみたいと思います。例えば「建物や館内の斬新なデザインなどアーツ前橋でしか見られないものがあるな」というような発見でもよいと思います。

現在はファミリー向けの体験型展覧会と、無料で鑑賞できる地域アートプロジェクト報告展を開催中です。この夏は、アーツ前橋で感動と涼しさを私たちと共有してみませんか。

問い合わせは
アーツ前橋 ☎027-230-1144